

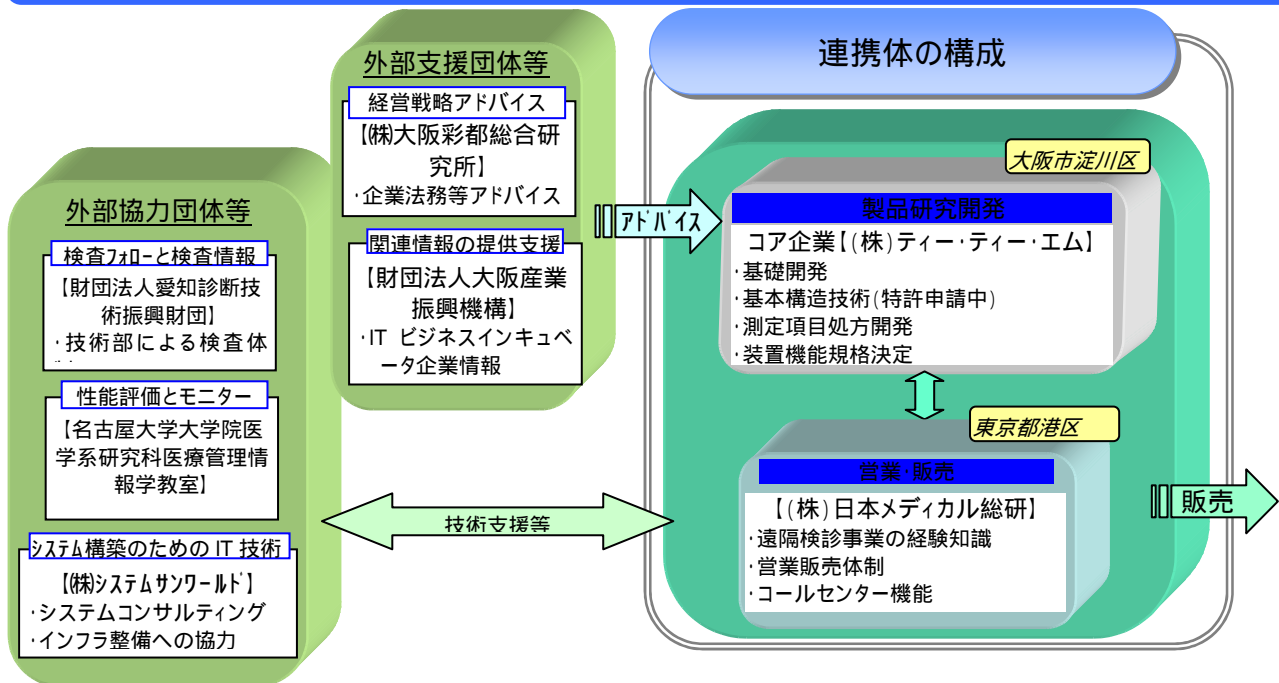
地域	近畿	事業分野	製造	認定日	平成18年2月28日
----	----	------	----	-----	------------

テーマ名：インターネットや携帯電話端末を利用するリアルタイム在宅検診用システムの事業化

事業計画の概要：

・従来の郵便遠隔検診における課題（結果報告まで2週間を要することや、被測定物である試料に対する保存・輸送中の温湿度による修飾要因など）を改善・排除し、受診者自身の手技で採取する血液から、測定に必要な血漿成分を分離回収する機能を有し、かつ測定対象成分と反応する試薬を内部に点着した「測定チップ」（構造原理について特許申請中）と、測定チップ内の発色反応を検出して、そのシグナルをケーブルで接続したPCまたは携帯電話を端末としてインターネットを経由し測定結果に変換・解析するセンターへ送信するための「小型装置」からなる新商品の開発と、それによる新たなサービスの提供。

コア企業：（株）ティー・ティー・エム
 連携企業等：（株）日本メディカル総研



連携の特徴

郵便遠隔検診を長年にわたって運営してきている日本メディカル総研と愛知診断技術振興財団が狙う次世代の遠隔検診システム構想は、まさにコア企業の技術を最大限に活用できるもので、従来の協力関係の枠をさらに強固にし、かつまったく新たな遠隔検診市場開拓への可能性を示唆する。

新事業

新商品は、「測定チップ」と「小型装置」による構成で新サービスを提供。健康状態を調べるのに適した血液検査を、リアルタイム（報告まで十数分を予定）に精度よく実施できる新しい遠隔検診システムである。

市場性

往診や訪問介護医療における利用
 医療過疎地域における診療支援
 薬局との提携
 スポーツクラブ、エステティックサロンとの提携
 サプリメント、トクホ、機能性食品会

支援予定メニュー

補助金、新連携融資、信用保証の特例、中小企業投資育成会社による支援、特許料減免